

# 朝鮮の教育——特に其藝術教育に就て

文學博士 笹川 種郎

私は約一ヶ月程に亘つて朝鮮の諸地方を旅行して來たが、それは單なる視察の意味ではなく、あらゆる朝鮮の學校、殊に朝鮮人のみを收容してゐる幼稚園、小學校、中學校等を參觀して廻つたのであつた、そして其の結果、最も痛切に感じたのは民族趣味の缺乏といふ事であつた。古く朝鮮には藝術工業の燦然たるものが存したのであつて、新羅朝の佛教文化、高麗朝の窯業、樂浪に於ける漢代文化の遺蹟等は、何れも雄辯に往時の盛觀を語つてゐるのであるが、惜い哉それ等の文化は凡て亡び盡して、今日何等の藝術趣味をも民族に遺してゐないのである。

高麗史などを見ると、朝鮮には曾て立派な繪畫が出たのであるが、その以後には大したものゝ殆どなく、劇も小説も、これと云つて觀るべきものがない。衣服でも婦人の服裝だけはさすがに清楚閑雅の觀

があるが、あの白服は何百年來のもので、白い色は清淨でいゝと云へば云ふものゝ實は染色知識の發達せぬ事を示すものに外ならない。其の他刺繡の如きも幼稚極まるもので、摺箔、縫箔の術も振はず、色彩の觀念が乏しいと共に、文様の觀念にも缺けてゐる。繪畫展覽會にも行つて見たが、畫様は多く内地の模倣で、殊更審査員の意を迎へるやうなものが多いのには失望した。あれでは將來發達の望がないと思ふが、これも畢竟する所は色彩觀念に乏しいのが原因であると云つて可からう。音樂にしても李王職の手に傳はつてゐる雅樂などは頗る結構なもので、樂器も漢代の書物などに其名が見えてゐて實物をまだ見た事のないやうな面白い物が用ゐられてゐるが、其反面に於て俗樂の振はないことは夥しい。これは江戸時代に於て俗樂が著しい發達を遂げ、今日尙其の傳統を残してゐる我國の状態とは大に異なる所で、妓生の唄なども大したものはなく、樂器も只支那を眞似たゞけでこれと云ふものはない。斯ういふ風に朝鮮の民衆文化は凡てに於て進歩せず、民族趣味は甚だ低劣であつて、恐らく其點に於て世界に類を絶してゐる。私は朝鮮人を教育する上に於て、最も考慮せねばならぬのは此の點であると思ふ。

## 二

現在我國では朝鮮人の教育上に如何なる方針を採つてゐるかといふに、凡てが内地人に對すると同じで、教科書までも殆ど同じ物を使つてゐる。成る程日本現在の教育は過去六十年間に於ける苦心研究の

結晶であつて、日本民族に最も適當したものであることは何人にも異論のない所であるが、遂に文化の劣つてゐる朝鮮人に、之を其儘直ちに施していか否かといふことは非常の大問題である。朝鮮人は内地人と萬事に於て同様の地位に置かれたいといふ一種のプライドから、寧ろ右の方針を歓迎するといふが、教育上の効果から云へば、餘程これは考慮を要する事である。私の意見としては、前にも云つた通り、朝鮮人は趣味が低いのであるから、先づ何よりも先に藝術教育を授けるのが必要であると思ふ。

元來朝鮮人は天性文學藝術が好きであるらしく、現に私は或る女子普通學校で生徒の作つた新體詩を見せて貰つたが、童謠風の中々面白い作品であつた。女學校の雜誌の文藝欄を見ても、文章や和歌、俳句などが多數に載せられてゐる。音樂も好きで、ミツシヨン・スクールなどには文學部と共に音樂部の設があり、音樂會も追々盛である。だから此の天性を利用して、もつと凡ての藝術を民衆的に普及させる方針を採つたならば朝鮮人の趣味性を向上させる事は必ずしも難事ではないのであつて、やがてそれが日鮮融合の上にも好い結果を來すのであらう。

由來朝鮮人の一部者には僻み根性があつて、日本人の行ふ事は凡て日本人の爲であるとする。總督府の文化政治すら謳歌せずして寧ろ非難してゐる。學者が日鮮融和についての意見を吐露するのを聽いて、それ等は皆偏見である、日本の立場からのみ觀た議論である、と考へてゐる。だから、教育にして

も寧ろ日本人の爲の教育であるかの如く曲解してゐる者が少くない。今日朝鮮に行つて見ると、稍教育中毒の觀がある位多數の學校が到る所に配置されてゐて、何れも堂々たる校舍と完全なる設備を有し、私が見た女子高等普通學校の實驗室の如きは、一人々々實驗の出來るやうに成つてゐる頗る立派なものであつた。地方の公立普通學校も同じく皆堂々たるもので、金剛の山の中にさへも學校があり、咄嗟の聲を耳にすることが出來るのである。斯ういふ風で、朝鮮の文化は今に必ず非常な勢で進展するであらうと思はれる程教育が盛なのは、實に喜ぶべき事であるが、其の教育を受けた者が何になるのかといふと、男子は官吏、女子は學校教師に成るのがお定まりである。しかし官吏や學校教師の員數には限があるとすれば、今に過多になつて、所謂就職難が起り、やがてそれが不滿の原因となるのは觀易い道理であるまいか。

朝鮮人の少數は今日尙自立を夢みてゐる。自立してどうするかといふと、舊王家復辟の考を抱いてゐる者は甚だしく、平壤、咸興等李朝發祥の地に於てさへも、過去の壓迫政治と苛斂誅求とに因つて寧ろ舊政に怨を抱いてゐる。傳へられる所に依ると、彼等の或る者は、若し李朝が倒れなかつたらば我々が進んで之を倒したであらうと公言したといふ程である。それでは彼等が自立を希ふ目的は何にあるのかといふと、それは自分等の政治を布く事である。これは甚だ誤つた考で、若し朝鮮が朝鮮人の國とな

れば、其の結果として現れるのは暗殺、毒殺の競合で、決して民族の幸福ではないのであるが、彼等は其處に想ひ到らずして只夢を見てるのである。そして内地人に對しては、古來の歴史的惡感から強い不滿の念を持つてゐる。だから内地人と一緒に手を携へて幸福な生活に進まうなどといふ事は彼等の思ひも寄らぬ事で、内地人が如何に口を酷くして説いても、又、教育機關をどれ程立派にしても、無効である。私は朝鮮人の教育上、先づ彼等の間に民族趣味を起し、藝術の力で内鮮の融和を圖るのが、凡てに於て最良の方法であると思ふ。

朝鮮人に内地人同様の教育を施すのが誤つてゐる事は前にも述べたが、私が參觀した或る學校の日本歴史の教室では、ちやうど三種の神器とか、神功皇后の出征とか、後醍醐天皇の建武中興とかいふ類の事を教へてゐたので、其の教師に、こんな事を教へて生徒に分るかといふ事を聞いた所が、イヤ一向に感興を起しませぬといふ答であつた。これは誠にさもあるべき事で、なぜあんな物を使つてゐるのか了解に苦むのである。同じ血潮の流れれてゐる内地人なればこそ、三種の神器も、正成も意義を成すのであるが、朝鮮人に突然そんな事を聽かせても何になるものではない。私が内地の學校と同じ教科書を使ふことの非を説くのは此の理由であつて、なぜ日本中心の東洋史を編纂して、結局日本が最も優秀な國である、どうしても日本に便らなければならぬといふ觀念を起させるやうにしないのであるか。私にはそ

れが分らないのである。

近頃立派な朝鮮神宮が南山の上にてきた、祭神は天照大神と明治天皇で、我日本の海外發展の記念としては或は恰好であるかも知れないが、兎も角朝鮮人には没交渉である。あれでは何の爲にお祭りしたのか分らない。なぜ明治天皇に配し奉るに、彼等の祖先たる檀君を以てしなかつたのであるか。それこそ初めて朝鮮人も眞に頭が下がるであらうと思ふ。

三

鮮民同化とか内鮮融和とかいふことは、日本人の頬に口にする所であるが、何をするにも彼等の感情を尊重してやる事が最も肝要である。

ところが内地人のやる事はどうか、此の頃總督府の新築が出来て舊王宮の後に堂々たる高樓が聳え立つやうに成つたが、朝鮮風の建築を前後に控えて頗る調和の好くないもので、あれでは朝鮮人の感情にどんな影響を與へるか考へ物である。朝鮮神宮といひ、總督府といひ、何れも結構であるに相違ないが、私に言はせれば、なぜそんなものよりも劇場を作らなかつたのであるか、朝鮮には芝居をする好い場所がないといふ事であるが、それを作つてやる事にすれば、一つには内地人の慰安にもなり、又朝鮮人の爲に古來の劇、妓生の踊などを公演する場所として、共に樂む事ができ、内鮮感情の融和の上

に少からぬ好結果を齎す事であらうと思ふ。

兎に角朝鮮民族に缺けてる所は民族趣味であるから、之を吹込むやうにしてやると共に、一方では其の感情を尊重してやるやうにすれば、必ず好い結果があるに違ひない。其の意味からして、言語を毀すといふ事も問題であつて、彼等の言語を尊重してやる事は、最も必要である。現在朝鮮では内地語を教へてゐて、子供などは能く使つてゐるが、道廳へ行くと、知事や内務部長などは、此の頃は朝鮮人が附上つて公立學校の日本語教授を止めと續々言つて來ると云ふ話であつた。しかしこれは日本語と朝鮮語と並行して差支ないのであつて、日本語を教へるのは朝鮮語を亡ぼす爲であると、朝鮮人に考へさせる事は宜しくない。

それから又風俗を内地風にさせる事も宜しくない。私は京城の三越で朝鮮人に賣る考から彼等の趣味を向上する工夫をせよ、そして流行ツ子の妓生に其衣装を着せて廣告宣傳用にしると云つた事があるが、それは、さうすれば模様の興味も起らうし、一般の趣味を向上させる一の方便となるであらう。そしてそれまでもまさか内地人の爲にしたとは朝鮮人も思はないであらう、といふ考からであつた。

#### 四

私は曾て朝鮮の女性といふ論を書いた處、それを見た朝鮮人は、皆盛に之を賞讃してよこしたが、其

の論文に於て私は、内鮮の融和は只形式だけでは駄目である。獨立論は間違つてゐるが、此の内鮮融和の爲には女性が奮起して之に當らねばならぬ。内地人を惡夢から覺めさせるのは朝鮮婦人の任務であると云ふ意味を述べたのであつた。ところが之に就いて日本人の注意を要するのは、在朝鮮のミッシヨンスクールである。是等の學校の卒業生は、學窓を出ても在來の朝鮮の家庭には向かぬので、オールドミスとして悶々の日を送るやうになる者が多く、これが或時期に達すると内地人に反感を持つやうになる。曾て萬歲騒ぎが朝鮮で烈しくなつたのは之が爲である。これは一些事に似てしかも由々しき問題であつて、婦人は第二の國民の母であるのだから、其の教育はアメリカ式のミッシヨンスクールなどに任せず、日本自らせねばならぬ。

所が是等のミッシヨンスクールにはどういふ種類の生徒が行くかといふと、多くは良家の子女である。これは一般にミッシヨンスクールの生徒の方がスタイルもよく、寄宿舎なども立派であるからである。此種の學校の教師は大抵外國人で、教科としても諺文のバイブルや讚美歌などを教へ、内地人の女教師は一人位であるから、參觀に行くつて懐しがつて出て來る。そして今では此種の女學校が京城は勿論、開城などにもあつて、盛に生徒を募集してゐるが、そこでは凡て藝術教育で、日本側の學校が兎角文藝を排斥する傾があるのと正に反對である。總督府の教育當局者に考へて貰ひたいのは此の點であつて、私は



今迄にも繰返して幾回か述べた通り、藝術教育を先づ朝鮮人に施す事を以て内鮮融和の捷徑と信ずる立場から、一層茲に之を高調するものである。

## 五

以上朝鮮人の教育について私の意見を述べたが、尙更に一二の附加へて置きたいことがある。其一つは朝鮮への移住をもつと盛にしたい事である。朝鮮全地の廣袤は千五百萬方里で、ちやうど本州から福井縣を除いたゞけに當るが、現在移住してゐる内地人は僅に四十萬人で、しかも其半數は官界生活者である。それで當局でも色々苦心して移住を奨励してゐるが一向行かない。之に付て新聞紙などには、死ぬと内地へ骨を持つて歸るからいけないと云ふやうな事が書いてあるのを見たが、現在の狀態では離れて内地から見ると甚だ不安で、とても朝鮮に骨を埋める氣にならぬのも道理である。だから移住者の少いのも無理ではないが、長くおちついて在住してゐる者に聽いて見ると、朝鮮は誠に住みよい所であると云つて非常に褒める。さうして見ると、朝鮮に移住者が少いといふのは、朝鮮の實相を知らないからであつて、適當な方法で奨励さへすれば、もつと増加することは難事でないのである。そこで私の考としては、軍隊を今少し増遣したい。現在は龍山と羅山とに師團があるが、平壤あたりは今一個師團置きたい。さうすれば不安に思つて躊躇してゐる者も安んじて移住するであらうし、一つには又從來朝鮮に安

住してゐる人々の多くが、是等駐屯軍の元兵士又は朝鮮で戦争した者である事から觀て、有力な移住者を得る最善の方途でもある。勿論師團の増設には莫大の國費を要する事と思ふが、斯くして移住者を増加することが出来れば、儼に其支出を償うて餘があらう。私は嘗て此の意見を故人の下岡氏にも述べた事があつたが、氏も同意見であるとの事であつた。

次の一つは鐵道である。これも金のかゝる事ではあるが、鐵道の敷設は文化發展上のみか移住獎勵の爲にも必要であつて、延びれば延びる程効果が擧がる。だから私は精神的には前に述べた藝術教育、物的には軍隊の増加と鐵道の延長が、治鮮の上に於て何よりも急務であると思ふ。内地人は是等の方途によつて益々朝鮮及び朝鮮人の内部へ入り込み、心からの内鮮融和を爲すべきであつて、それには内鮮人の結婚といふ事も是非考へねばならぬ事である。朝鮮人で内地婦人を妻に持つてゐる者は可なりあるが、内地人が朝鮮婦人を妻としてゐる者は甚だ少ない。これは朝鮮婦人が内地婦人の家庭に入ることを餘り喜ばぬといふ事も一原因であらうが、内鮮融合の爲には兩者の結婚を盛にすることは非常に必要である。直接朝鮮人の女學生などに聽いて見ると、家庭の風習が違ふから合はぬといふが、これは藝術教育、趣味教育を盛にして、藝術の上から互に理解するやうに成れば、少くとも漸次には效を奏することと思ふ。